

4年 『海と生きる探究活動』年間指導計画デザインシート（プログラムチャート）

単元名	山・川・里・海の生命をつなぐ鹿折川【50時間】		テーマ	生態系、大気循環、海洋汚染	関連教科等	総合的な学習の時間、国語、社会、理科、業前活動							
総括目標	鹿折川流域に住む人々の生活の仕方を見つめ、鹿折川の水の恩恵を受けて人を含む多くの生き物のいのちが育まれていることを知る。水辺の環境を守るために、自分たちでできることを考え実践しようとする心情を育む。				SDGs 関連	4	6	11	13	14	16	気仙沼市2次総合計画関連	自然・環境・食
身に付けたい資質能力	【知識及び技能】・・・・・・・・ 体験活動を通して、地域の自然環境や社会環境に目を向けながら、川の水が地域の田や工場と関わりがあることを理解することができる。探究課題の解決に必要な情報を収集し、それらを整理・分析する技能を身に付けることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 環境保全のために、自分たちができることを考えることができる。自分やグループでの考えを、地図やレポートに表現して、分かりやすく発表することができる。 【学びに向かう人間性等】・・・ 探究課題解決のために、友達と協力し合いながら情報収集したり、集めた資料を整理・分析したりしてまとめようとする。学んだことを進んで日常生活に生かそうとする。											【主な連携機関と内容】 ・気仙沼市役所環境課 ・岩井崎観光協会 ・米農家村上俊一さん・鹿折公民館館長 ・気仙沼自然塾 ・宮城教育大学棟方准教授 ・気仙沼クリーンヒルセンター・終末処理場 ・水山養殖場畠山信さん	
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学期	1学期（4～7月）				2学期（8～12月）				3学期（1～3月）				
探究過程	課題設定（問題・理由）		課題探究（体験・見学・観察・実験・調査・情報収集・分析・根拠・整理）						発信（発表・提言・行動）				
育みたい資質能力（学力）	知識及び技能		思考力・判断力・表現力等						学びに向かう力・人間性等				
	とらえる【F】 ～情報の読解力～		判断する【I】 ～科学的に思考・吟味する力～			切り拓く【S】 ～能動的に学ぶ姿勢、価値を生み出す感性、探究力～			つなぐ【H】 ～対話力・志～				
探究活動（海探） 探究内容エッセンス	オリエンテーション 一年間の見通しをもとう（2）時間 ・鹿折川が海につながっていることを知り、鹿折川について学習することに意欲をもつ。 ・学習の見通しをもつ。												
【生命】 生態系多様性 水産資源 食文化 健康 歴史民俗 国際協調	探究活動（一斉）【第1次】 鹿折川はどんな命を育てているのだろうか？ 鹿折川から環境を考えよう①（5）時間 ○鹿折川の役割について知る。（3時間） ・市役所環境課の方の講話 ・鹿折川の水質、生物環境、川の流れ、流域の土地利用等、各自課題を設定する。 ○鹿折川の水を利用する農家を調べよう①（2時間） ・稲を発芽させ、苗を育てる。 ・成長した苗の観察を行う。 鹿折川から環境を考えよう②（7時間） ○鹿折川の環境調査を行う。 ・鹿折川上流（白山地区）の生物・水質の調査を行う。 ・宮城教育大学の棟方先生を招き生物調査を行う。 ○分かったことをまとめよう ・分かったことをまとめる。												
【環境】 気候変動 大気循環 地形地質 海洋資源 海洋汚染 観光居住	第一次探究課題の設定・調査（一斉・グループ） 探究課題を見直そう（1）時間 ○第一次探究課題を設定する（1時間） ・鹿折川の水質と生態系を保護するためにできることを調べる。 ・山と川をつなぎ、海の豊かさをもたらす川の働きを理解し、水産資源の保護や豊かな海を守るためにできることを考える。 ・鹿折川の治水機能を理解し、防災減災のためにできることを考えよう。												
【安全】 防災減災 領土領海 海上輸送 法規条約	第一次行動・発信・振り返り 調べたことを発表しよう（4）時間 ○第一次探究課題についてまとめる（3時間） ・テーマ毎に調べたことをまとめる。 ・模造紙に資料などを貼り、発表原稿等を作成する。 ○発表会をしよう（1時間） ・学級の中でポスター発表会をする。 ・川と海のつながりが分かり、川の水質を守ることが海の環境を守ることに役立つことを理解させる。												
	ガイダンス【第2次】（探究課題カテゴリーの吟味） 1学期を振り返ろう（1）時間 ○ガイダンス（1）時間 ・1学期に学習したことを振り返り、自分が探究課題として設定したテーマを確認する。 ・2学期の探究活動の見直しをもつ。												
	第二次課題探究（探究課題別グループ） 鹿折川から環境を考えよう③（8・5）時間 ・終末処理場を見学し、海を汚さないように下水をきれいにする仕組みや働く人々の思いを知る。 ・「森は海の恋人」運動について、畠山重篤さん・信さんの話を聞く。水山養殖場に行き、豊かな海とはどのような海か知る。 ・鹿折川下流（鹿折地区）の生物・水質、水辺の環境を調査し、分かったことをまとめる。 ・クリーンヒルセンターを見学し、ごみ処理の仕方やゴミの種類を知り、減らせるゴミがあることに気付く。働く人々の思いを知る。 ・鹿折川の源流から河口まで、川の全体の姿を捉えて、これまでの調査や見学から分かったことをまとめる。												
	第二次対話・発表・共有 発表会をしよう（6）時間 ○調べたことを整理しよう（4時間） ・グループごとに、探究したことをグラフや画像などを使って、ポスターや地図にまとめる。 ○ポスターにまとめ発信しよう（2時間） ・自分たちができることを考え、活動計画を立てて、参観日に保護者や地域の方に発表する。												
	第三次課題探究【発展】（個） 発表会を振り返る（2）時間 ○探究課題を修正する。（1時間） ○補充探究の見直しをもつ。（1時間） ・環境に配慮した生活の仕方を知り各自家庭や学校で実践したことを振り返り、まとめる。												
	第三次行動・発信・振り返り（個） 調べたことを発信しよう（8）時間 ○家族や3年生等、身近な人々に伝える。（7時間） ○一年間の学習を振り返り、感想をまとめたり、新たな課題を見付けたりする。（1時間）												